# 様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1 -①を用いること。

学校名	県立農業大学校
設置者名	宮崎県

1.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の 単位数又は授業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配置困難
	農学科	夜 •	6 単位	6 単位	
専門課程	<b>辰于</b> 们	通信	180時間	180時間	
· 守门床往	畜産学科	夜 •	6 単位	6 単位	
	田庄于行	通信	180時間	180時間	
		夜 •			
		通信			
		夜 •			
		通信			
(備考)					

2.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ (http://majc.sakura.ne.jp) で公表。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名		
(困難である理由)		

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者(公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等)は、この様式を用いること。

学校名	県立農業大学校
設置者名	宮崎県

# 1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	外部評価委員会						
	○審議事項						
	・大学校の重点目標、評価項目に関すること。						
	・大学校の教育活動(教育課程、学生の進路指導、インターンシップ						
	等の研修等)のあり方。						
役割							
	○意見の活用方法						
	・重点目標や評価項目について調整を図る。						
	・授業内容や教育方法に反映させる等、教育水準の向上に活用してい						
	る。						

# 2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考 (学校と関連する経歴等)
農業関係団体 専務理事	R2. 4. 27~R3. 3. 31	卒業生の就職受入れ
農業法人組織 会長	R2. 4. 27~R3. 3. 31	在校生の研修受入れ 卒業生の就農受入れ
(備考)		

# 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	県立農業大学校
設置者名	宮崎県

# ○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

[授業計画(シラバス)の作成過程]

- ① 前年度のカリキュラム委員会において次年度のカリキュラムを決定
- ② 各学科において「授業計画(シラバス)」(案)を作成
- ③ カリキュラム委員会において点検、修正
- ④ カリキュラム委員会から運営委員会へ提案、適宜各学科において修正
- ⑤ 校長の決裁により決定

[授業計画(シラバス)の作成・公表時期]

- ① 次年度のカリキュラムは、前年度の10月より検討を開始し、12月末に決定
- ② 1月より、各学科において「授業計画(シラバス)」(案)を作成
- ③ 校長の決裁により決定
- ④ 当該年度の4月初旬に公表

授業計画書の公表方法

| 本校ホームページ (http://majc.sakura.ne.jp) で公表。

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- (1)年度初めにシラバス等を学生に配布し、各科目の内容及び評価方法・基準を周知する。
- (2) 科目担当者は、試験や研修報告書、出席状況などにより、次の基準で学生の成績評価を行う。

講義及び演習	知識	出席点	学習態度	
	90点	10点	20点を上限に減点	
実習	知識	技能・技術	出席点	学習態度
	40点	40点	20点	20点を上限に減点
インターンシップ	研修日誌	研修報告書	研修評価書	出席点
自主企画研修	20点	30点	30点	20点
学外研修	研修報告書	出席点	学習態度	
	80点	20点	20点を上限に減点	
海外農業体験研修	研修報告書	出席点	学習態度	
	70点	30点	30点を上限に減点	
卒業論文	テーマ設定	研究内容	データ整理	論点整理20点
	10点	20点	20点	自主的取組30点

- (3) 科目担当者は100点満点で評価し、4段階(優・良・可・不可)で評定を出す。
- (4)単位修得や履修の認定は、成績評価をもとに運営委員会で審議し、(3)の結果に基づき、校長が認定する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・成績評定の区分

評 定	評 点
優	85 点以上
良	70 点以上 85 点未満
可	60 点以上 70 点未満
不可	60 点未満

・指標の算出方法

「優」の単位数×3 + 「良」の単位数×2 + 「可」の単位数×1 + 「不可」の単位数×0

GPA =

受講登録した科目の合計単位数(「不可」や途中で受講を中止した科目を含む)

- ・学科毎に成績分布状況を把握している。
- ・年2回の成績審議の他、各学期途中に単位修得及び出欠状況について把握し、成績不振者については通知表以外に奮起を促す文書を本人と保護者へ送付
- ・進級や卒業が危ぶまれる学生については保護者同伴で単位修得状況及び出欠状況を 説明

客観的な指標の 算出方法の公表方法 本校ホームページ (http://majc.sakura.ne.jp) で公表。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・卒業の認定に関する方針
  - ① 専攻に関して「生産する力」を身につけること。
  - ② 専攻に関して「経営する力(経営スキル)」を身につけること。
  - ③ 専攻実習における『プロジェクト学習』で「課題を解決する力」を身につけること。
  - ④ 校外研修や学生自治会活動をとおして社会性を身につけること。
- ・卒業の認定要件

「教育計画書における科目の中から全ての必修科目を含む80単位以上の修得及び授業時数1700時間以上の授業科目の履修のいずれをも満たすことを要件とする。」

・卒業認定の手順

卒業の認定にあたっては、教務学生課が卒業の条件を満たしていることを確認できる成績審議資料を作成の上、運営委員会において審議し、校長決裁により卒業を認定する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法 本校ホームページ (http://majc.sakura.ne.jp) で公表。

# 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4 -①を用いること。

学校名	県立農業大学校
設置者名	宮崎県

# 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

# 2. 教育活動に係る情報

# ①学科等の情報

分	野	課程名	学科名	学科名・学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・作	農学科・作物専攻1年			0			
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総		開設	けして	ている授業	業の和	重類	
年限	<b>登</b> 仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演 <sup>3</sup>	習	実習	実	験	実技
				780	0		1,500	0		0
2年	昼間	1,700単位時間/		単位時間	単位に	時間	単位時間	単位に	時間	単位時間
	課程	80単位		/52 単位	/0 2	単位	50/単位	/0 単	位	/0 単位
		2,280単位時間/102単位					2 単位			
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	ち留学生数 専任教員		数	兼任教員数		総	教員数
114人	の内数	12人	0	0人 2人		人	1	1人		13人

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科名	名・学	年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・作	乍物 専	攻 2	年		0			
修業	日本	全課程の修	了に必要な総		ļ	開設し	して	いる授業	美の種	<b>重</b> 類	
年限	昼夜	授業時数又に	は総単位数	講義	SAM:	演習		実習	実験		実技
				240	4	480		1, 590	0		0
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位時	間 〕	単位時間	ı	単位時間	単位甲	寺間	単位時間
	課程		8 0 単位	/16 単位	立 /	/32 単位	:	53/単位	/0 単	垃	/0 単位
					2,	2, 310		10単位時間		0 1	L単位
生徒総	徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数 早	<b>享任</b> 教	教員数		兼任教員数		総	教員数
114 人	の内数	4人	0	人		2人	(	1	1人		13人

分	野	課程名	学科名	3・学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・野	<b> </b>	1年		0			
修業	昼夜	全課程の修了	『に必要な総		開設	じして	ている授業	業の種	<b></b>	
年限	<b>登</b> 仪	授業時数又に	<b>は総単位数</b>	講義	演	習	実習	実	験	実技
				780 0			1,500	0		0
2年	昼間	1, 700	単位時間/	単位時間	単位時	宇間	単位時間	単位時	寺間	単位時間
	課程		8 0 単位	/52 単位	/0 単位	垃	50/単位	/0 単位	立	/0 単位
				:	2, 2	8 (	) 単位時間	引/ 1	0 2	2 単位
生徒総	E徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数 専任	£教員	数兼任教		兼任教員数		教員数
114 人	114人の内数 8人 (		0	)人		人	1 2 ,			13人

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科名	占・生	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・野	<b></b> 野菜 写	専攻 2	2年		0			
修業	日本	全課程の修了	了に必要な総			開設	して	こいる授業	美の種	重類	
年限	昼夜	授業時数又は	は総単位数	講	義	演習	瓜	実習	実	験	実技
				240		480		1,590	0		0
2年	昼間	1, 700	単位時間/	単位	時間	単位時	間	単位時間	単位時	時間	単位時間
	課程		8 0 単位	/16 l	/16 単位 /		位	53/単位	/0 単	位	/0 単位
				2, 3			3 1 0 単位時			0 1	L単位
生徒総	徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	上教員数		兼任教	員数	総	教員数
114 人	の内数	9人	0	人		1	人	1	2人		13人

分	野	課程名	学科名	呂・学年			専門士		高度	専門士		
農業		専門課程	農学科・	花専攻 1	年		0					
修業	日古	全課程の修了	で必要な総		開設	じて	ている授業	業の種	重類			
年限	昼夜	授業時数又は	総単位数	講義	演	習	実習	実	験	実技		
				780	0		1,500	0		0		
2年	昼間	1, 700	単位時間/	単位時間	単位時	宇間	単位時間	単位	時間	単位時間		
	課程		8 0 単位	/52 単位	/0 単位	₩.	50/単位	/0 単	位	/0 単位		
				:	2, 2	8 (	単位時間	引/ 1	0 2	2 単位		
生徒総	徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数 専信	£教員	数	数 兼任教		兼任教員数		総	教員数
114 人	の内数	5人	0	人		1人 1		2人		13人		

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	<b>学科</b>	名・与	<b>芝</b> 在			専門士		高度専門	
),	-13	11八王/口	7-4-1-	<b>1</b> -	1 1			4117		101/7	. <u>41 1 T</u>
農業		専門課程	農学科・	花専	攻 2	年		$\circ$			
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総			開設	して	こいる授業	美の種	重類	
年限	登仪	授業時数又は	は総単位数	講	講義演		瓜	実習	実	験	実技
				240		480		1, 590	0 単位時		0 単位時
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位時	寺間	単位時	間	単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	/16 単	色位	/32 単	位	53/単位	0 単位	Ĺ	0 単位
					2	, 3	1 0	単位時間	[] / 1	0 1	単位
生徒総	E 徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	·教員数		兼任教	任教員数		教員数
114 人	の内数	3人	0	人		1	人	1	2人		13人

分	野	課程名	学科名	呂・屶	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・身	<b></b>   樹博	厚攻 1	年		0			
修業	日古	全課程の修了	了に必要な総			開設	して	こいる授業	美の利	重類	
年限	昼夜	授業時数又に	は総単位数	講	義	演習	UNZI	実習	実	験	実技
				780		0		1,500	0		0
2年	昼間	1, 700	単位時間/	単位即	時間	単位時	間	単位時間	単位	時間	単位時間
	課程		8 0 単位	/52 単	单位	/0 単位	Ĺ	50/単位	/0 単	位	/0 単位
				2,280単位時					引/ 1	0 2	2 単位
生徒総	徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	:教員	数	兼任教員	兼任教員数		教員数
114 人	の内数	9人	0	人		1	人	1	2人		13人

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科名	<u> </u>	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・身	<b>果樹</b>	専攻 2	2年		$\circ$			
修業	昼夜	全課程の修了	で必要な総			開設	して	こいる授業	業の種	重類	
年限	<b>全</b> 仪	授業時数又は	総単位数	請	購義	演習	IZ I	実習	実	験	実技
				240	240 480		1, 590		0 単位	[時	0 単位時
2年	昼間	1, 700	単位時間/	単位	立時間	単位時	間	単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	/16	単位	/32 単	位	53/単位	0 単位	Ĺ	0 単位
					2	2, 310		単位時間	引/ 1	0 1	単位
生徒総	上徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	教員	数 兼任教		員数	総	教員数
114 人	の内数	6人	0	人		1	人	1	2人		13人

分	野	課程名	学科	名・5	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科•	茶専	攻 1	年		0			
修業	昼夜	全課程の修っ	了に必要な総			開設	して	こいる授業	美の種	重類	
年限	鱼仪	授業時数又は	は総単位数	講	義	演習	Y Y	実習	実	験	実技
				780		0		1,500	0 単位時		0 単位時
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位時	時間	単位時	間	単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	/52 単	单位	/0 単位	江	50/単位	0 単位	Ĺ	0 単位
				2, 280				単位時間	[] / 1	0 2	2 単位
生徒総	三徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	任教員数		兼任教	任教員数		教員数
114 人	の内数	1人	0	人		1	人	1	2人		13人

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科名	名・学年	Ē		専門士		高度	専門士
農業		専門課程	農学科・	茶専攻	2年		0			
修業	昼夜	全課程の修了	『に必要な総		開設	さして	ている授業	業の種	重類	
年限	生权	授業時数又に	<b>は総単位数</b>	講義	演	習	実習	実	験	実技
					255 540		1,515	0 単位	立時	0 単位時
2年	昼間	1, 700	単位時間/	単位時間	単位即	寺間	単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	/17 単位	/33 単	i位	51/単位	0 単位	左	0 単位
					2, 3	1 (	) 単位時間	引/ 1	0 1	1 単位
生徒総	生徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数 専	任教員	数兼任教		兼任教員数		教員数
114 人	の内数	0人	0	人	1	人	1	2人		13人

分	野	課程名	学科名	ጟ •	学年			専門士		高度専門士	
農業		専門課程	フート゛ビジネ	学れ ス専		1年		0			
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総			開設	して	ている授業	と 色 種	<b>賃</b> 類	
年限	限 授業時数又は総単位数			講義 演				実習	実	験	実技
				720	)	0		1,500	0		0
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単	位時間	単位時	間	単位時間	単位即	<b>寺間</b>	単位時間
	課程		8 0 単位	/48 単位 /0 単			Ĺ	50/単位	/0 単位	立	/0 単位
				2,		2,	2, 220単位		持間/	9 8	3 単位
生徒総	生徒総定員数 生徒実員 うち		うち留学生	数	専任	教員	数 兼任教		任教員数		教員数
114 人	の内数	9人	0	人		2	人	1	1人		13人

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	·野	課程名	学	科/	名			専門士	高度		専門士
農業		専門課程	きない。	学 次専		2年		0			
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総			開設	して	こいる授業	と の 種	種類	
年限	生仪	授業時数又は総単位数			講義演習		IZ IZ	実習	実	験	実技
				240	)	465		1,560	0 単位	[時	0 単位時
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単	位時間	単位時	橺	単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	/16 単位 /31 単			位	52/単位	0 単位	-	0 単位
						2,	2 6	5 単位時	詩間/	99	) 単位
生徒総	生徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	教員	数 兼任教		使任教員数		教員数
114 人	の内数	3人	0	人		2	人	1	1人		13人

分	野	課程名	学科名	• 5	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	畜産学科・F	対用 年	牛専工	女・		0			
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総			開設	じて	こいる授業	と の 種	種類	
年限	年限 授業時数又は総単位数			討	構義	演習	習	実習	実	験	実技
				810	)	0		1, 470	0		0 単位時
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位	立時間	単位時	捐	単位時間	単位問	寺間	間/
	課程		8 0 単位	/54 単位 /0 単位 49/単位 /0 単位				立	0 単位		
					2	, 2	8 0	単位時間	[] / 1	0 3	3 単位
生徒総	主徒総定員数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数	専任	:教員	数員数 兼		員数		教員数
114 人	の内数	13人	0	人		2	人		8人		10人

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科名	• ½	学年			専門士		高度専門士	
農業	7 7 7 7		畜産学科・肉用牛専攻・ 2年			0					
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設している授業の種類				重類		
年限	生权	授業時数又は	は総単位数	1	冓義	演習	IZ I	実習	実	験	実技
					5	360		1,560	0 単位	[時	0 単位時
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位	位時間	単位時	橺	単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	/23	3 単位	/24 単	位	52/単位	0 単位	Ĺ	0 単位
						2,	2 6	5 単位時	詩間/	99	9 単位
生徒総	生徒総定員数 生徒実員 うち留学生		数	専任	教員	数	兼任教	員数	総	教員数	
114人の内数 22人 0		人		2	人		8人		10人		

分	·野	課程名	学科名	• 4	学年			専門士		高度専門士	
農業		専門課程	畜産学科・ 1	酪质	農専攻	•	0				
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総			開設	して	こいる授業	業の種	種類	
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	们占	構義	演習	IZ IZ	実習	実験		実技
				810	)	0		1,620	0		0
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位	立時間	単位時	間	単位時間	単位時	計間	単位時間
	課程		80単位	/54	4 単位	/0 単位	江	54/単位	/0 単化	立	/0 単位
			2,			, 4	3 0	単位時間	引/1	0.8	3 単位
生徒総	生徒総定員数 生徒実員 うち留学生		数	専任	:教員	数	兼任教	員数	総	教員数	
114 人	114人の内数 3人 0		人		1	人		9人		10人	

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科	名。	* 学年			専門士		高度専門士	
農業		専門課程	畜産学科	斗• 2年	酪農專 F	厚攻	0				
修業	昼夜	全課程の修っ	了に必要な総			開設	して	ている授業	業の種	<b></b>	
年限	<b>登</b> 仪	授業時数又は	は総単位数	Î	冓義	演習	Y Y	実習	実験		実技
				345	5 単位	360 単	位	1,710	0 単位	時	0 単位時
2年	昼間	1, 700	)単位時間/	時	間/	時間/		単位時間	間/		間/
	課程		8 0 単位	23	単位	24 単位	芷	57/単位	0 単位	<u>c</u>	0 単位
					2	2, 4	1 5	単位時間	引/1	0 4	4 単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生		専任	教員	数	兼任教	員数	総	教員数
114 人	114人の内数 5人 0		人		1	人		9人		10人	

分	野	課程名	学科	名•	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	畜産学科	畜産学科・養豚専攻     1年			0				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総	に必要な総			じて	ている授業	業の種	種類	
年限	生仪	授業時数又は	は総単位数	請	購義	演習	習	実習	実	験	実技
					)	0		1, 470	0		0
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位	立時間	単位時	捐	単位時間	単位	寺間	単位時間
	課程		8 0 単位	/54	単位	/0 単位	立.	49/単位	/0 単	垃	/0 単位
					2	, 2	8 (	) 単位時間	引/ 1	0 3	3 単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数	専任	:教員	数	兼任教	員数	総	教員数
114 人	114人の内数 0人 0		人	•	2	人		8人		10人	

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科	名。	* 学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	畜産学科	斗• 2 <sup>左</sup>		厚攻	0				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総			開設	して	こいる授業	と の 種	<b></b>	
年限	<b>登</b> 仪	授業時数又は	は総単位数	1	冓義	演習	IZ I	実習	実	験	実技
						360		1,560	0		0
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単	位時間	単位時	間	単位時間	単位即	寺間	単位時間
	課程		8 0 単位	/23	3 単位	/24 単	位	52/単位	/0 単位	垃	/0 単位
						2,	2 6	5 単位時	持間/	99	9 単位
生徒総	定員数	生徒実員	生徒実員うち留学生		専任	教員	数	兼任教	員数	総	教員数
114 人	114人の内数 0人 0		人		2	人		8人		10人	

分	野	課程名	学科名	占•	学年			専門士		高度	専門士
農業		専門課程	音通フート゛ビジネ			上年	0				
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総	に必要な総			開設している授業の種類				
年限	鱼仪	授業時数又に	は総単位数	討	構義	演習	Y Y	冥 実習		験	実技
					)	0		1,500	0		0
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位	立時間	単位時	間	単位時間	単位8	寺間	単位時間
	課程		8 0 単位	/48	単位	/0 単位	江	50/単位	/0 単	垃	/0 単位
						2,	2 2	2 0 単位時	持間/	9 8	3 単位
生徒総	定員数 生徒実員 うち留学生		数	専任	:教員	数	兼任教	員数	総	教員数	
114人の内数 1人 0		人		1	人		9人		10人		

<sup>※</sup>生徒実員は変動することもある。

分	野	課程名	学科名	ž •	学年			専門士		高度専門士				
農業		専門課程		畜産学科 フードビジネス専攻・2年			0			0				
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総	に必要な総 開設			<b>受している授業の種類</b>							
年限	鱼仪	授業時数又に	は総単位数	Î	構義	演習		実習		験	実技			
				240	)	465		1,560	0		0			
2年	昼間	1, 700	) 単位時間/	単位	位時間	単位時	間	単位時間	単位時	時間	単位時間			
	課程		8 0 単位	/16	6 単位	/31 単	位	52/単位	/0 単	位	/0 単位			
						2,	2 6	5 単位時	計間/	/99	9 単位			
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数	専任	:教員	数	兼任教	員数	総	教員数			
114 人	の内数	1人	0	人		1	人		9人		10人			

## カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

#### (概要)

#### 「授業方法】

講義、演習、実習による授業を実施している。

#### [設置科目の区分]

- ○教養科目はすべて学年共通科目である。
- ○専門科目には、学年共通科目、学科共通科目、専攻共通科目がある。

#### 「科目登録の区分]

- ○1年生については、単位修得を進級・卒業要件としている「必修科目」、学生の 判断で受講登録をする「選択科目」がある。
- ○2年生については、学校が受講を指定する「共通科目」、学生の判断で受講登録 をする「選択科目」がある。

#### 「科目の内容]

- ○農業・食品等、専門に関する科目を設置している。
- ○専門に関する科目以外に進路支援のための科目を設置している。

### [授業計画(シラバス)の作成過程]

- ① 前年度のカリキュラム委員会において次年度のカリキュラムを決定
- ② 各学科において「授業計画(シラバス)」(案)を作成
- ③ カリキュラム委員会において点検、修正
- ④ カリキュラム委員会から運営委員会へ提案、適宜各学科において修正
- ⑤ 校長の決裁により決定

#### [授業計画(シラバス)の作成・公表時期]

- ① 次年度のカリキュラムは、前年度の10月より検討を開始し、12月末に決定
- ② 1月より、各学科において「授業計画(シラバス)」(案)を作成
- ③ 校長の決裁により決定
- ④ 当該年度の4月初旬に公表

# 成績評価の基準・方法

### (概要)

- 1 成績評価の方法
- (1) 年度初めにシラバス等を学生に配布し、各科目の内容及び評価方法・基準を周知する。
- (2) 科目担当者は、試験や研修報告書、出席状況などにより、次の基準で学生の成績評価を行う。

講義及び演習	知識	出席点	学習態度	
	90点	10点	20点を上限に減点	
実習	知識	技能・技術	出席点	学習態度
	40点	40点	20点	20点を上限に減点
インターンシップ	研修日誌	研修報告書	研修評価書	出席点
自主企画研修	20点	30点	30点	20点
学外研修	研修報告書	出席点	学習態度	
	80点	20点	20点を上限に減点	
海外農業体験研修	研修報告書	出席点	学習態度	
	70点	30点	30点を上限に減点	
卒業論文	テーマ設定	研究内容	データ整理	論点整理20点
	10点	20点	20点	自主的取組30点

- (3) 科目担当者は100点満点で評価し、4段階(優・良・可・不可)で評定を出す。
- (4)単位修得や履修の認定は、成績評価をもとに運営委員会で審議し、(3)の結果に基づき、校長が認定する。

## 卒業・進級の認定基準 [農学科・畜産学科]

#### (概要)

#### ・進級の認定

進級の認定は、運営委員会において審査し、その結果に基づいて校長が行う。その 場合、教育計画書における全ての科目の中から 40 単位以上の単位修得かつ授業時数 850 時間以上の科目を履修することを要件とする。

#### ・卒業の認定

卒業の認定は、運営委員会において審査し、その結果に基づいて校長が行う。その場合、教育計画書における科目の中から、全ての必修科目を含む80単位以上の修得及び授業時数1,700時間以上の授業科目の履修のいずれをも満たすことを要件とする。

#### 学修支援等

#### (概要)

- ・年2回の成績審議の他、各学期途中に単位修得及び出欠状況について把握し、成績 不振者については通知表以外に奮起を促す文書を本人と保護者へ送付
- ・進級や卒業が危ぶまれる学生については保護者同伴で単位修得状況及び出欠状況を 説明

# 卒業者数、進学者数 進学者数 就職者数 (自営業を含む。) その他 39人 (100%) 0人 (92.3%) 36人 (7.7%)

## (主な就職、業界等)

就農(自営、雇用)、農業団体、農業関係企業

#### (就職指導内容)

- ・ハローワーク面談(個別面談)
- ・農業法人や農業関連企業等との就職相談会
- ・マナーアップ講座、進路講話

#### (主な学修成果(資格・検定等))

- · 大型特殊車両免許(農耕用)
- ・けん引(農耕用)
- 日本農業技術検定
- •農業簿記検定 等

#### (備考) (任意記載事項)

# 卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

#### 「畜産学科]

[田/王 1 11]					
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
26人	0人	26人	0人		
(100%)	( 0%)	( 100.0%)	( 0.0%)		

### (主な就職、業界等)

就農(自営、雇用)、農業団体

#### (就職指導内容)

- ・ハローワーク面談(個別面談)
- ・農業法人や農業関連企業等との就職相談会
- ・マナーアップ講座、進路講話

#### (主な学修成果(資格・検定等))

- · 大型特殊車両免許(農耕用)
- ・けん引(農耕用)
- 家畜人工授精師
- 2級認定牛削蹄師 等

### (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状								
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率						
122 人	4 人	3.3%						

(中途退学の主な理由)

・就学意欲の衰退

(中退防止・中退者支援のための取組)

- ○中退防止のための取組
  - ・学科職員及び教務学生課職員によるカウンセリング
- ○中退者支援のための取組
  - ・農業法人等、就職先の情報提供

# ②学校単位の情報

# a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
農学科	5, 650 円	118,800円		2年間の預かり金(教材、制 服、研修費等)
畜産学科	5, 650 円	118,800円	(寮生) 1,160,000円	2年間の預かり金(教材、制 服、研修費等)
	円	円	円	
	円	円	円	

## 修学支援(任意記載事項)

# [授業料免除]

#### ○対象者

- ア 火災、風水害等により災害を受け、家計に重大な支障を生じた者
- イ 生活保護法 (昭和 25 年法律第 144 号) の規定による保護を受けている世帯に属する者
- ウ 当該年度に納付すべき地方税法 (昭和 25 年法律第 226 号) の規定による市町村税 が非課税となる世帯又は均等割のみとなる世帯に属する者
- エ その他やむを得ない事情がある場合については、免除を受けようとする者の申し出により、知事が個別に判断を行うものとする。

#### ○免除の期間及び額

- ア 授業料の免除を行う期間は、認定の始期から当該年度の最終月までの範囲内とする。
- イ 認定の始期が4月の場合の授業料の免除の額は、各期分の授業料の全額とする。 ただし、認定の始期が各期の途中の場合は、授業料の年額の12分の1に相当する 額に免除期間の月数を乗じて得た額とする。

# b) 学校評価

#### 自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://majc.sakura.ne.jp

#### 学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

#### 1 名称

県立農業大学校 外部評価委員会

### 2 設置目的

本県農業の担い手育成のために求められる質の高い教育を提供するとともに、地域に根ざした開かれた大学校づくりを推進し、大学校の自律的改善を図る。

#### 3 所掌事務

- (1) 大学校の評価システムに関すること。
- (2) 大学校の重点目標、評価項目に関すること。
- (3)農大校の教育活動(教育課程、学生の進路指導、インターンシップ等の研修等) のあり方について審議し、その内容を大学校へ提言すること。
- (4) その他大学校の評価に関する重要事項に関すること。

#### 4 組織の構成

- (1)委員会は、委員長及び9名の委員をもって組織する。
- (2)委員は農業関係団体、大学校同窓会、農業法人、農業関連法人、教育関係の有識者等から大学校の教育に関わりのある人物へ委嘱する。
- (3) 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
- (4) 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、委員のうちから委員長が あらかじめ指名したものがその職務を代理する。

#### 5 体制

委員会の会議(以下、「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集する。 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることが できる。

#### 6 評価結果の活用方法

授業内容や教育方法に反映させる等、教育水準の向上に活用している。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
宮崎県農業協同組合中央会	R2. 4. 27∼R3. 3. 31	卒業生の就職受入れ
宮崎県農業法人経営者協会	R2. 4. 27~R3. 3. 31	卒業生の就農受入れ
		プロジェクト学習連携
		在校生の研修受入れ
宮崎県SAP会議連合	R2. 4. 27~R3. 3. 31	卒業生の就農受入れ
		プロジェクト学習連携
		在校生の研修受入れ
県立農業大学校同窓会	R2. 4. 27~R3. 3. 31	卒業生の就農受入れ
		プロジェクト学習連携
		在校生の研修受入れ

# 学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://majc.sakura.ne.jp

# 第三者による学校評価(任意記載事項)

# c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://majc.sakura.ne.jp